



学校だより 青い鳥

平成30年度12月号
さいたま市立上落合小学校
平成30年12月3日作成

さいたま市中央区上落合4-14-24 TEL 852-5381
http://kamiochiai-e.saitama-city.ed.jp/ E-mail:kamiochiai-e@saitama-city.ed.jp



銀河はオリオンのベルト

校長 藤澤 太郎

今年は、秋を楽しむ時間が程よくありました。そして、曇り／雨のち、寒くなったり暖かくなったり。身体は正直ですから、気温と天候の変化に戸惑い、暖冬の長期予報が頭の隅で縮んで伸びています。シクラメンやポインセチアの赤と街の喧騒が師走の訪れを象徴しています。子どもたちには（大人も）楽しい時期が迫ってきましたね。勉強や生活など含め、様々なことのまとめの時期として、この3週間をぜひ充実したものにしてもらいたいと願っています。

1年がたつのははやいもので、ついこの前正月と思っていたらもう師走なんて、信じられないと思っている諸氏！の中の一人は私です。諸氏の特徴はまた別の機会にお話するとして、時の流れについて子どもは全く別のことを考えているようです。児童：「先生～、一日ってなんでこんなにながい～の～？」先生：「話している間に3分あったらこのフレーズ音がとれるでしょ、、」そうなんです、（きっと）子どものときは時の流れがゆっくりなんだと想像しています。

このことについては、科学的な考え方や俗説含め諸説あるようです。しかし、年齢を重ねる毎に時間の流れが速くなっていく感覚は間違いないと思っています。そこで、時がゆっくり進むグループと速く進んでしまうグループに分けて考えてみることにしました。

ゆっくり進むグループの主な仕事は勉強やスポーツで、それぞれ探りながらでも自分の力で前進しているからゆっくり感じるのでは？ 個人の感覚ですから何とも言えないところはありますが、物事への見通しが上手くつかめないままスタートして、「あ～そうなんだ！」「こうすればいいんだ。」となるまでの時間の密度が濃いのでは？ ということです。一方、速く進むグループの主な仕事は、社会人としてしっかり仕事をするということです。この場合、働く目的がハッキリしているから速いのか？ 仕事が忙しいから速いのか？ ここまで考えを進めたところで、あと二つ重要な要素があることに気付きました。（自分が）もっと高齢になった時はどうなのか？ ということと、各グループとも、遊んでいる時（楽しい時間）は、なんであつという間に過ぎてしまうのか？ ということです。このことについて、「毎日精一杯生きよう！」とか、「自分は生かされている、、」などと、精神論的なアプローチの仕方もあると考えます。けれど現実には、めいっぱいギューギューに詰め込んだ日もありますし、のんびりと時間の流れを楽しむような日もあり（いやいや、滅多にない。）、この両者でも時間の流れ方は違うということも言えると思います。

「気のもちよう」と言ってしまうとそれまでです。世の中は結構なスピードで変化を続けていますし、人の暮らしや時間の使い方、物事の価値さえ刻一刻と微妙に変わっていくようで不安になることもあります。結論が出ませんが、時間を気にしないで夢中になって遊んだ日のことを思い出しつつ、次に何をやるかを考える方が心や体に良さそうです。また、子どもには、様々な時間を使って有意義な経験（遊びも学習も）をさせてあげることが大切と考えています。その際に、子どもの時間の進み方を考慮することを忘れずに！ 一日遊んで・学んで、子どもに「あ～楽しかった！」と言わせてみたいものです。

ところで、タイトルのオリオンとは猫の名前です。（映画「M.I.B」より）この猫が持っていた球体？が小宇宙だったのかどうかは分かりませんが、人間が時間や空間を自分でコントロールできるようになったら、それは素晴らしいことなのか？ 危ういことなのか？ しばし考え、時間を大切にしたい気持ちの質が高まったように思います。

皆様よいお年をお迎えください。

学校教育目標

あかるく なかよく たくましく